

新社長登壇

New President



紅忠スチール

伊東 重仁氏

「事業会社の実力を上げていくことが伊藤忠丸

研修を積極的に受講させる方針を示す。

客の製品を海外の生産工場に輸出する際に貿易事務を代行で手掛けるケースもあり、利便性の高さが評価されている。顧客の新製品開発に合わせ、短納期で試作材を手配するなど、フットワークの良さも強い」と抱負。社員が自己

「アイコモン」も年間1000戸まで販売を伸ばす計画。スペックイン活動を従来の野村不動産以外にも展開し、さらなる採用拡大を狙う。

13年の新会社設立以降、走ってきた方向は間違いないと確信し、「取引先の数を増やす活動を愚直に続けていきたい」と抱負。社員が自己

紅鉄鋼グループ全体の強化になる。事業領域を国内にとどまらず、将来的には海外にも広げていく考え。人材育成も一層強化し、高度な専門知識の習得に向け、一昨年から事業会社に開放された伊藤忠丸紅鉄鋼本体の教育

前期は取扱数量30万トを確保し、予算を達成。「この2年間で敷内茂行前社長が手を打ってきたことが確実に成果として表れている」。主要顧客は自動車と建材が大半で約5割ずつを占めるが、このうち自動車向けでは顧客

みだ。建材部門では15年に名古屋、16年に大阪で新たに担当者を配置し、現在は九州北部まで販売エリアを拡充した。互恵関係の1環で、稲葉製作所などと共同開発したマンション用メーターボックス扉

▽伊東重仁（いとう・しげひと）氏「81年早大政経卒、丸紅入社。薄板・ブリキ貿易に長く従事。海外はインドネシアに10年、シンガポールに3年駐在。ネシアではコイルセンター設立に一から携わったのが思い出。187才の体躯で大学時代はアメフト部で活躍。学生選抜にも選ばれた。丸紅入社後は同社アメフト部の設立にも尽力。座右の銘は母校の水戸一高の校訓でもある「至誠一貫」。58年2月17日生まれ、茨城県出身。

（音成 泰文）

事業領域、海外に拡大へ